

大鳴門橋記念館うずしお科学館 リニューアルオープン3月18日(土)

うず潮を楽しく
体験できる4ゾーン♪

岡大鳴門橋記念館 ☎ 52-2888

大鳴門橋記念館「うずしお科学館」が3月18日(土)にリニューアルオープンし、神秘的なうず潮を子どもから大人までが楽しく、体感的に学べる施設に生まれ変わります。

リニューアル改修工事は、県からの施設移譲支援金を活用。うず潮の神秘的な「自然的価値」と古来から愛されてきた「文化的価値」を広く発信するため、専門家の意見を参考にしながら、昨年9月から工事を開始し、2月28日に完成しました。

館内は、「エントランスゾーン」「うずしおゾーン」「体験学習ゾーン」「世界遺産学習ゾーン」の4つに分け、うず潮の魅力や特徴を紹介しています。ぜひ、ご来館ください。

エントランスゾーン

渦の中の様子が見通せるガラス張のエントランスに一新したほか、うず潮の見ごろ時間や来館者からのメッセージを紹介



うずしおゾーン



天井高7mの空間に2000分の1の地形模型とうず潮を再現する水理模型、400インチの大型映像などを配置し、うず潮発生のメカニズムを体感的に解説

世界遺産学習ゾーン



世界遺産に向けた活動や調査報告を発信

体験学習ゾーン



渦型の遊具で遊びながらうず潮と南あわじの自然・文化・歴史を紹介

特産品のPRとオリジナル商品開発



地域おこし協力隊 小林



私は、大阪や首都圏など島外のイベントで「そうめん」「灰わかめ」など南あわじの特産品をPR・販売をしながら、灘の名産である「みかん」を使ったドライフルーツの商品開発を進め、1月に初めての販売を行いました。



▲灘のみかんを使用したドライフルーツ

ただ仕入れて売るのではなく、収穫から試行錯誤の加工にいたるまですべての工程を経験できたことは、販売者だけでなく生産者の目線でお客さまに商品の魅力を「伝える」ことができ、ほぼ完売できたことはいうれしかったです。

そして今は、ドライフルーツを「デコポン」「大根」と種類を増やして次の販売の準備を整えているほか、昨年末より「いちじく」農家さんの手伝いをはじめ、農家さんとの信頼関係を深めながら、次の新しい商品を開発中です。

長年EC(電子商取引)の世界で仕事をしてきた私にとって、こういった活動はあらためて人と人との繋がりの大切さを教えていただく機会となりました。

今後、経験を活かしながら、できることをきちんと積み重ね、少しでも地域の方々に喜んでいただける活動ができればと思います。